

住まいの飾り職人“アトムリビントック株式会社”の広報誌

# ATOM NEWS



# 175

【アトムニュース】  
2012 MARCH 春号

つかってみると  
なんだかうれしい  
こちいい



- a ペンダント
- b 花器
- c コースター
- d ぐい呑み
- e おりん
- f 花器

ギャラリーショップ KANAGU 東京都港区新橋 4-31-5 アトムCSタワー1階 TEL.03-3437-7750  
OPEN 月-金 10時-18時 CLOSE 土・日・祝日(第1・第3土曜日は営業)  
Access JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」/ 都営三田線「御成門駅」・「内幸町駅」より徒歩7分



CONTENTS

- 3 Artisan Gallery 「磨墨」 硯職人 青柳 貴史さん
- 6 石の神様・仏様 小さな小さな「ありがとう」
- 7 東京再発見 日比谷 松本楼
- 10 アトムCSタワーのエコ活動 屋上緑化で環境学習③
- 11 ATOM's Eye ズームイン! 引戸ソフトクローズ[誕生編]
- 13 Friend Circle 「杜の未来舎」斎藤 久夫さん  
東北の作家は今、元気を取り戻しつつあります
- 15 CSタワー通信 アトムリビンテック広島営業所を紹介します!
- 17 After Hours 浅草・バー FOS
- 18 オフタイム



hajimari

作家: 一央里 (いおり)

<http://www.h6.dion.ne.jp/~fiori/>

東日本大震災で被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

弊社は新橋のアトムCSタワーにて「東北炎の作家復興支援展示会」をロングラン開催し、引き続き復興支援活動を行ってまいります。

COVER STORY

太古の昔、宇宙へのアクセスコードだった日本の装身具  
現代の意識の中での原点回帰 TAZOO



帯留  
ふくちくると  
福聴兎(実物大)

月の光にはその満ち欠けのリズムと共に奏でられる福音がある。その調べを静かに聞き分け、そっと教えてくれる兎がいるという。

人類が「知る」ことを得て歩みだし、かつて自身がその一部だった大自然を懐かしみ、その距離を埋めるべく畏怖と憧憬の念で身にまとった装身具。それは時に護符としてまた時に大宇宙との交信の道具として用いられ、ヤマトの王は装身具を通して森羅万象の声を受信し、民の祈りを言挙げしていた。その後、時という光の矢と共に装身具は歴史の舞台からその姿を消し、明治という時代まで沈黙する。そして現在、「ジュエリー」という現代のファッションアイテムへと変化を遂げ人々に愛されている。TAZOO は目に見える光のみならず、忘れかけられた宇宙の瞬きにアクセスするアイテムである。そこには永い沈黙の期間に積み重ねられた日本の美意識と匠の技が内包されている。

Produced by Isao Nasu

那須勲氏プロデュースの「TAZOO /アートジュエリー展」が行われます。

日時: 4月18日(水)~30日(月) 11:00~19:00 土・日・最終日は17:00にて終了

会場: 銀座・靖山画廊(せいざんがろう)

<http://www.art-japan.jp/index.html>

# 磨 墨

硯職人 青柳貴史

二階の奥の作業場の扉を開くと懐かしい、墨の匂いがありました。ここに息づく硯石らは、遙か中国の坑から見出され、運ばれ、縁あって、ようやくここに辿り着きました。三大名硯とされる硯は 端溪硯、歙州硯、澄泥硯。なかでも端溪硯は、姿 形も美しく、墨のおりも素晴らしい。かつての書家や文豪が、愛した硯と言われます。

「硯」は石を見ると書く。だから形、色、石紋等々細かく、しっかり見なくてはけません。

「いずれの石も個性、癖は千差万別。手相、人相があるように、硯石にも硯相があるのです」

その硯石を前に職人は、座って、黙って、向かい合っている。時には硯石の声に耳を傾け、時には我の想いを語り自分の眼を真っすぐに信じ

じっくり、じっくり。精進しながら彫り上げます。

やがて彫り上げ 乾かして 洗って 墨を塗る。乾かして 洗って 墨を塗る。繰り返しの作業の末にすっかりと、見事な硯に姿を変えてゆくのです。

「私の仕事はつくるだけでなく、使われている硯の手入れをしてやること。壊れた硯をなおすこと。そして硯に新しい、美しい生命を与えること」肩の骨の下あたりに、木の柄の先に鋭い刃をつけたノミをあて力強く、身体すべてで彫り進める。

「完成形を見越して彫る。ここが本当に難しい」  
そう言いながら硯を光に翳す四代目。今日も一刀に心を込める。



# 「一刀一刀に心を込め、硯に向かい心を交わす」

硯は、磨る道具、そして、精神の器

古くから、硯は「墨を磨るため」の道具だった。そして筆を用い、文字を書く文化圏で硯は実用品だった。

「でも、石が持つ自然の美は、次第に人々を陶酔させる魅力を備えてきたんです」

掌に収まるほどの硯を、愛おしそうに撫でながら、静かに語る硯職人、青柳貴史。祖父の仕事の手伝いで、はじめ



④ 彫る時のノミは、木の柄の先に銹鉄の刃をつけたものを使う。石を彫るのだからすぐに刃先は丸くなる。思い通りの仕事をするには、絶えず刃先の調整に気を配らなくては…。⑤ 硯の命は石。良い石だと思っても、いざ彫ってみると良い所は表面だけ、ということも。その見極めが難しいのです。

て硯に触れたのは中学3年の時だった。

「手伝いという意識でやっていた頃、硯作りは簡単なものと思っていました。でも…」

本格的に始めたのは高校を卒業してから。すると意識が急に変わってきた。

「これは、決して簡単なことではないぞ」と、己を戒めた。硯を作るということ、きちんと向き合うようになった。それから硯作り一筋。今日も、硯と向かい合う。

「硯は、墨を磨る」という用途を超え、墨を磨る行為のうちに、精神の器として存在してくる」

心を鎮め墨を磨る。やがて自然の、悠久のリズムに心が開かれていく。「なんとも贅沢な時間ですよね」

窓の光に硯を翳し、ぼつんと。職人の咬ぎに硯が顔いたような気がした。

## 何百年先も美しく

「墨を当ててみると、するするところけるような磨り心地がするんです。熱釜塗蠟と言いますが、これは一度味わ

うと忘れることのできない感触です」

選ばれた石から、手間も愛情もかけられ完成した美しい硯。それを持つ者だけが知る喜び。いやはや、硯の世界は奥が深い。

さて、一流の硯を作る職人として、心にしっかと据えたものは？

「沢山の石や硯を見る、触ること」  
触って自分の中に取り入れる。これは一つのセンス。

「石が持つ感性や特性を理解してやる」  
理解がないと一流の硯は作れない。

「今まで携わってきた、色々なものを集約し、咀嚼して、石に向かってメッセージを込める」

時間をかけてじっくり、石と対話しながら作る。時間は、あればあるほどいい。じっくりと仕上げるから時間はかかるが、それは承知の上のこと。

「何百年後、これを持たれた方が、『これはいい出来だね』と言ってくださいるような硯を作りたい」

もう一度、硯を光に翳して見る。光の陰影が硯をさらに美しく見せる。真に見栄えのよい、素晴らしい硯であった。

青柳貴史 ● 1979年、東京都浅草生まれ。15歳の頃より硯職人であった祖父に作硯を師事。その後、祖父より父が受け継いだ書道用具専門店「宝研堂」に入社。父に作硯を師事。現在は自社工房にて製造、修理、目研ぎ、デザインを彫り直す改刻のほか、硯全般の相談にも応じている。年に数回、中国に渡り原石の仕入れを行う傍ら、採石現場での現地調査、石質研究にも注力。その他、学校や団体を対象に硯の講義、実演彫りを混ぜた講演活動に従事。テレビやラジオを通じて硯の魅力を広める文化普及活動も行っている。



石の  
神様

仏様

4

新潟県小千谷市小栗山 小栗観音堂付近の菩薩像

## 小さな小さな「ありがとう」

お寺や神社の境内の片隅や道すがらにひっそりと立つ、石の神様・仏様。時によっては、立派なお堂の中に祀られた国宝の仏像よりも力強く、わたしたちに何かを語りかけてくれます。



僕は、何年か前まで、後ろにある石の上にいたんだよ。けど、突然地べたが激しく揺れて、僕は転がり落ちてしまった。

崖が崩れ、水が吹き出して道がなくなり、村の人たちは、ヘリコプターでどこかに運ばれていった。

どうなることかと心配したけれど、しばらくすると、ちゃんとみんな戻ってきて、僕を助け起こしてくれたんだ。

それから僕は、ここに立っている。

ある日、どこからやってきた旅人が、

君の後ろの石は、さざれ石っていうんだよと教えてくれた。

僕たちの国は、小さな石が大きな岩になって、苔が生えるまで永遠だ。そんな歌も教えてもらった。

僕の後ろのさざれ石は、もうずいぶん大きいし、とつくに苔も生えているけれど、

僕は、まだまだ、ここに立ち続けるつもりだよ。

僕を助け起こし、今も見守ってくれる人、遠くから、はるばるここにきてくれる人、

みんなに「ありがとう」と言うために。

小さな「ありがとう」は、

いつかきつと、大きな大きな「ありがとう」になって、僕たちの国を支える力になると思うから。

### ● 小栗観音堂付近の菩薩像 (新潟県小千谷市小栗山)

小栗山は、2004年の新潟県中越地震で大きな被害を受けた地域です。幸い倒壊を免れた小栗山観音堂には、江戸時代後期漂泊の僧、木喰上人が作った木彫りの微笑仏が祀られています。近くに石仏があると教えられて行ってみました。なかなか見つからず、「この大きな石自体が仏様なのか」と思ったのですが、よく見ると、かわいい仏様がちよこんと立っておられました。村の復興を支える、小さくとも力強い仏様です。(関越自動車道「小千谷IC」より車で約20分。JR上越線「小千谷駅」よりバスで20分、下車後徒歩で15分。)



文・写真 吉田さらさ

テラタビスト&ジンジャー(寺と神社の旅研究家)

寺、神社、仏像に関する文章を書くのが主な仕事。取材旅行を重ねるうちに、石の神様や仏様の像の魅力に気づき、写真を撮るのがライフワークのひとつとなった。「お寺に泊まる 京都散歩」、「わたる世間は神仏ばかり」(いずれも新宿書房)、「奈良、寺あそび、仏像ばなし」(岳陽舎)など、著書多数。NHK文化センター青山校などで、実際に寺や神社を歩く講座も行っている。

<http://home.c01.itscom.net/sarasa/>

東京  
再発見

日比谷松本楼

# 公園の森の 「復興と祈り」のレストラン

暖かな木漏れ日が心地よいオープンテラス

取材・文／倉田ひさし 撮影／大垣善昭

明治三十六年（一九〇三年）、日本初となる西洋式公園が陸軍省の練兵場があった日比谷の地に誕生した。

「日比谷公園」と命名されたその公園内に、森のレストランとして創業したのが「日比谷 松本楼」である。

当時のモボ（モダンボーイ）やモガ（モダンガール）の間で、

松本楼でカレーを食べ、コーヒートを飲むのが流行の最先端だった。

「松本楼の庭前に氷菓を味へば

人はみな、いみじき事の噂に眉ひそめ

かすかに耳なれたる鈴の音す」 高村光太郎『智恵子抄』より

そう詠われたオープンテラスに春の陽射しが踊っている。

## 日本初の西洋式公園に 洋風レストランが誕生

公園の森に抱かれた瀟洒な洋風レストラン「日比谷 松本楼」。

激動する歴史のうねりを身をもって体験し、まもなく創業百十年目を迎える。

明治三十六年、明治政府の欧化政策によって東京市は日本初の西洋式公園となる日比谷



現在の松本楼は昭和48年に再建された

公園の建設を計画。ヨーロッパの公園のように園内にレストランをという発案で入札が行なわれ、いち早く参加したのが銀座で料理店を経営していた小坂梅吉であった。

このときの予定入札価格は、1坪30銭。当時、銀座に日本初のピヤホールが誕生して話題になり、ジョッキ半リットルが10銭という時代。小坂は予定価格を大幅に上まわる1坪3円50銭で150坪を落札した。日比谷公園の1坪

は、ビール35杯分だったということになる。

かくして開店の運びとなった松本楼は、ヨーロッパの香りたたよう木造3階建て。出窓のあるマンサード屋根が目をひく斬新なデザインであった。

松本楼がオープンするや、たちまちハイカラ族の人気店に。家族連れで公園に出かけて散策を楽しみ、松本楼で香り高いコーヒートを飲み、ナイフとフォークで洋食を味わうのが流行になった。

と同時に、松本楼は政治家や文化人らが集い、大いに議論しあい、英気を養う場となったのである。

## 古いピアノが物語る 辛亥革命時代の秘話

現在の松本楼の1階ロビーに、1台の古いピアノが置かれている。そのピアノをめぐる秘話が、意外な歴史を物語ってくれる。

## アトムの視点



### 創業1903年

松本楼の創業はアトムリビテックと同じ1903年。明治・大正・昭和と激動の時代を駆け抜けてきた同級生です。幾度となく政治的混乱の舞台となった日比谷公園。松本楼の歴史がそのまま日本の近現代史とリンクします。



### グラスホルダー

バーカウンター頭上のグラスホルダー。通常は吊戸棚の天板に取り付けるタイプが一般的ですが、フレンチレストラン「ボア・ド・ブローニュ」では天井から長くパイプが伸び、宙に浮いているかのようにワイングラスが収納されていました。バーコーナーのゾーニングにも一役買っています。



- 孫子の妻、宋慶齡が弾いた燭台付きのピアノが展示されている1階ロビー
- 日本楽器製造株式会社（ヤマハの前身）が1907年に製造した日本最古のピアノといわれる
- エントランスの照明。3代目松本楼の建築設計は、創建当時の松本楼で生まれ育った創業者の息子、小坂秀雄氏
- 日本資本主義の父といわれる澁澤榮一による揮毫。松本楼のロゴとして使われている（撮影：吉田浩光）

松本楼の創業からさかのぼること8年前、香港で写真館を経営していた貿易商の梅屋庄吉という人物が、ある男と出会う。二人はヨーロッパ列強諸国の圧政に苦しむアジアを憂い、独立自主の道を確認すべきだと語り合つて意気投合する。男の名は、のちに中国革命の父と呼ばれる孫文であった。

梅屋はこのとき孫文に「君は兵を挙げたまえ。我は財を挙げて支援す」と盟約を結ぶ。盟友にして義兄弟となつた孫文のために、梅屋は私財を投じ物心両面で支援をつづけた。

その後、「辛亥革命」の動乱の時代、日本に亡命した孫文は梅屋の自邸にかくまわれ、梅屋夫妻の仲立ちで、同じく亡命中であつた宋慶齡と結婚。彼女は梅屋邸にあつたピアノを弾いて、つかの間の新婚生活の慰めとした。

梅屋は孫文の支援を要請するために、各界の名士を松本楼に招待し、何度も食事会を開催したという。このとき松本楼の小坂梅吉と

梅屋庄吉の間には、レストランの経営者と客という接点以外のなにもない。両家の運命の糸が結ばれるのは昭和になつてから、小坂の孫息子と梅屋の孫娘の結婚によつてである。そんな不思議な縁に引き寄せられ、梅屋の遺品と孫文の資料、そして宋慶齡が愛したピアノが、松本楼にもたらされたのである。

### 復興と再生を象徴する 恒例10円カレーセール

明治から平成へと、松本楼は幾多の苦難の時代をくぐりぬけてきた。

大正十二年九月、関東大震災によつてレストランが全焼。公園に建設された避難所のバラック生活を経て、必死の思いで立ち上がり、木造三階建て本館とコンクリート建て別館を再建。二代目松本楼が誕生する。

しかし太平洋戦争の末期、東京に空襲が始

まると、公園は軍用地となり松本楼は海軍将校の宿舎に転用されてしまう。

さらに敗戦後もGHQの憲兵司令部の宿舎として接収され、7年にわたつて営業ができない日々がつづく。その後、昭和二十六年にようやくレストランを再開するが、さらなる受難が襲つた。

昭和四十六年十一月、政治闘争の嵐が吹き荒れ、「沖縄返還協定反対」を叫ぶ左翼過激派学生が公園内で暴徒化。彼らが投じた火炎ビンがレストランを直撃し、二代目松本楼もまた焼失という事態に直面する。

そんな中、事件を知つた国内外の多くの人々から激励と再建への願いが寄せられる。その声に励まされ、2年後に三代目となる松本楼がオープン。復興支援を感謝する記念行事として始めたのが、いまや恒例の「10円カレーチャリティーセール」である。

毎年九月二十五日、カレーが10円以上のカーンパで提供され、売上金は交通遺児育英会や日本ユニセフ協会に寄付される。昨年は、その全額が東日本大震災の被災地への義援金にあてられた。

幾たびも苦難からよみがえつた松本楼は「復興と再生」の象徴的存在でもある。スタート以来40年目を迎える「10円カレー」は、俳句の季語にもなるほど定着した。

創業時からの人気メニュー「ハイカラビーフカレー」は、まさに復興への「祈り」の味である。



1



2

①窓の緑が美しい3階の本格仏蘭西料理「ポアド・ブローニュ」  
②八芒星(八つの光芒がある星型)デザインの天井照明



3



4

③創業以来の人気メニュー「ハイカラビーフカレー」  
④ランチタイムには行列のできる1階の「グリル・ガーデンテラス」

## Information インフォメーション

### 日比谷 松本楼

- 所在地／東京都千代田区日比谷公園1-2 日比谷 松本楼 本店
- 問合せ先／03-3503-1451
- HP／<http://www.matsumotoro.co.jp>
- 交通／地下鉄日比谷線・丸ノ内線「霞ヶ関」駅(B2、B1a、B3a)下車、徒歩1~2分  
地下鉄千代田線・日比谷線・都営三田線「日比谷」駅(A14)下車、徒歩1~2分  
JR山手線・京浜東北線「有楽町」駅(日比谷口)下車、徒歩4~5分

都市の自然と遊び、学ぶ フィールドスコープ

# 観察力と感性を育む

小さな花びらや種、葉っぱなどの自然素材を入れて三角柱の鏡に映る様子や、色、変化を楽しむ万華鏡です。キットを組み立て、フィールドスコープ（万華鏡）を持って近くの公園や街を散歩しながら自然観察をするエコツアーのスタートです。遠くの里山や森林公園に行かなくても、小さな野草の花や昆虫は都心でも生きています。都市の自然で感性を育て、四季を通して遊ぶことで多くの学びが生まれます。



フィールドスコープはアトムCSタワーで販売しています。  
630円（税込） TEL 03-3437-3673

## 安全・安心のキットを組み立てる

大阪の教材メーカー、サンワさんのご協力で、15年かけて安全・安心の自然観察キットとしてのフィールドスコープが完成しました。

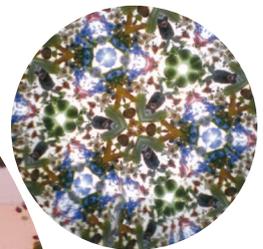
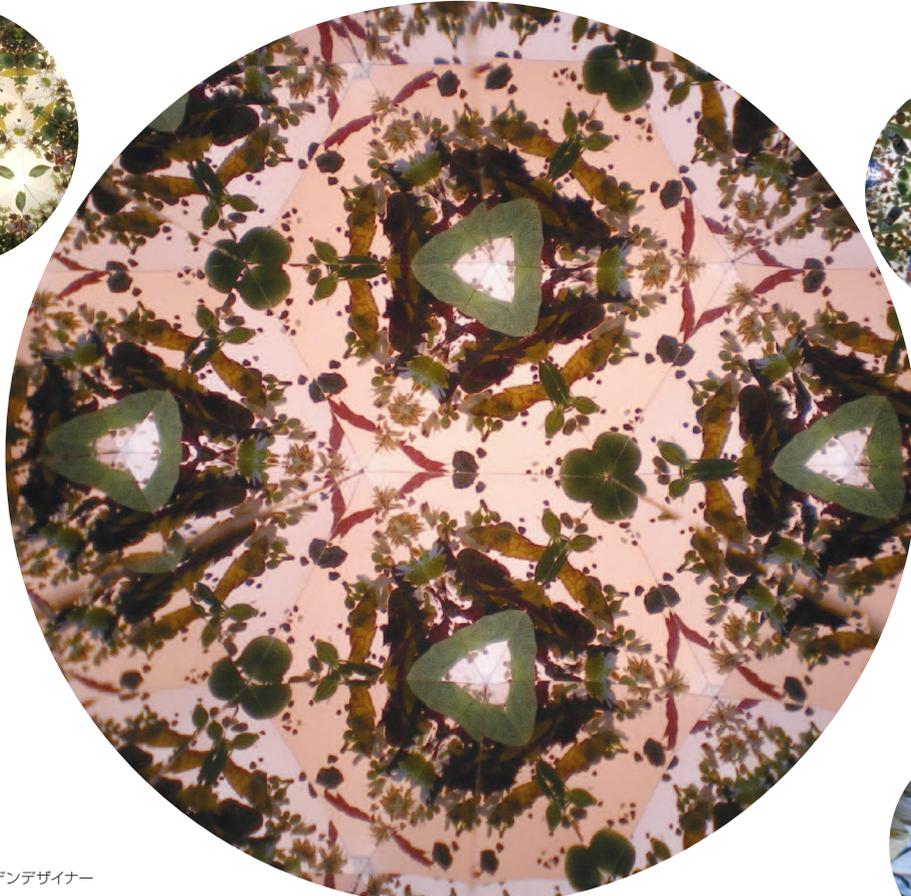
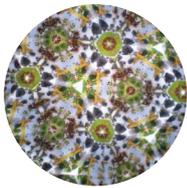


足元の自然で遊ぶことで、遠くの里山の大切さを学ぶプログラムです。



## 子どもから大人までが夢中になるコミュニケーションツール

50歳以上の大人の中には、子どもの頃、自然の中で遊び、学びを体験した方が多くいらっしゃいます。その大人と子どもがフィールドスコープを教材として使うと、人と自然のコミュニケーションがさらに深まることに、プログラム開発の途中の段階で気づきました。



**矢野 TEA** ガーデンデザイナー

世界らん展や英国王立園芸協会主催のチェルシーフラワーショーなどで多数受賞。  
03年NHK教育テレビ「おかあさんといっしょ」の「へんし〜ん」コーナー制作。  
著書に「森の標本箱」(小学館)、「HOUSE」(マガジンハウス) など。  
[www.forest-farm.com](http://www.forest-farm.com)

© 2012 FOREST FARM YANO TEA



# ズームイン! 引戸ソフトクローズ

## [ 誕生編 ]

日本の住宅の開口部にはさまざまな場所に引戸が使われているが、この開け閉めには微妙な力加減が必要なため、その際に発生する騒音の解消や建具にかかる負荷の軽減、指ばさみの防止などの課題があった。そこで、「楽な操作でぴたっと閉まる引戸はできないか」という発想のもとに、2005年、業界に先がけてこれを実現したのがアトムリビンテックの引戸ソフトクローズだった。その誕生の舞台裏を開発担当者の飯島弘久が語った。

**日本の住宅に引戸が多用されているのはなぜ？**

日本の木造一戸建て住宅をちよっとイメージしてみてください。それは柱や梁を組み合わせた軸組工法で建てられることが多く、柱と柱の間には大きな空間が生まれます。このようにしてできた広々とした開口部に、障子や襖をはじめとするさまざまな引戸が用いられるようになったというわけです。

一方、伝統的な西洋の家は、レンガや石を積んだ壁によって構成される構造が主になり、壁に穿った穴が開口部になるため、そこには密閉性の高い開き戸が使われることになりました。

アトムリビンテックは、日本のこうした住宅事情に合わせて、戸車、レール、ストッパー、引き手や取っ手といった多彩な引戸用金具を長年にわたってラインアップしてきました。ところが、2000年代に入るところから流れが少しずつ変わってきました。

ユニバーサルデザインあるいはバリフリーという考え方がさかんに提唱されるようになり、それまで主流だった下荷重引戸に加えて、上吊引戸も使われるようになってきました。ここか

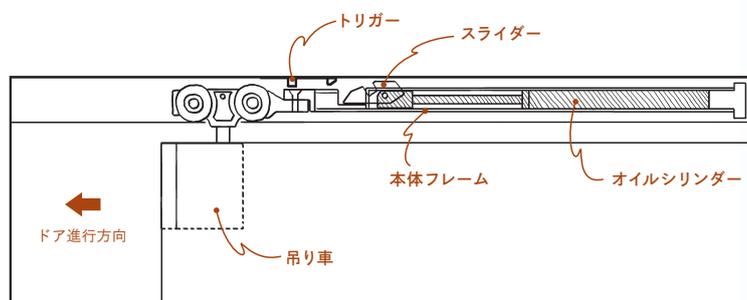
ら、アトムリビンテックの新しい挑戦が始まったのです。

**住宅の開口部をもっと安全に、便利に、快適にしたい**

アトムリビンテックの新しい挑戦。この一環として2000年に始動したのが、「次世代開口部プロジェクト」でした。

大学で制御工学を学んだことがきっかけで私は、このプロジェクトの一員として新製品の研究開発を担うことになりました。

入社3年足らずで引戸関連製品の開発を任された私は、まずは上吊引戸というニッチな分野にターゲットをしばり、緩やかに、静かに、安全にぴたっと閉まる機能はできないだろうかと思き始めました。上吊引戸は床にレールや溝を施工する必要がないので床面をフラットにでき、ユニバーサルデザインの観点から今後の需要拡大は必至です。また、開き戸のように開閉によるデッドスペースも生まれませんから、日本の住宅にはぴったりといえます。当初はぜんまい仕掛けの自動式引戸なんかどうかと、制御の仕組みなどを考



### ソフトクローズ動作の仕組み

1. スライダーがトリガーを掴まえ、ソフトクローズ開始
2. ピストンロッドがバネの作用により、オイルシリンダーから出てゆく
3. その際、オイルシリンダー内のオリフィス作用により、スライダーが減速され、戸がゆっくり閉じる

\* 実際には2～3は同時に起こる。

\* トリガーとは、上部レール内所定位置に固定された掛け金具。スライダーの本体フレームへのフック状態を解除し、さらにスライダーをホールドする役割を兼ねる。

\* スライダーは、ソフトクローズ動作を戸に伝達するための部品。戸を開けた状態の時は、上図の位置でフレームに引っかかっている。



アトムリビンテック  
「2012春の新作発表会」のご案内

大阪会場

4/11(水) 12(木) 13(金)



●アトム住まいの  
金物ギャラリー大阪  
大阪府吹田市広芝町18-5  
tel.06(6821)7281



御堂筋線・南北線「江坂駅」南改札より徒歩5分

東京会場

4/18(水) 19(木) 20(金)

同時開催

東海大学デザイン学課程 産学協同作品展



●アトムCSタワー  
東京都港区新橋4-31-5  
tel.03(3437)3440



JR山手線・銀座線・都営浅草線「新橋駅」より徒歩7分  
都営三田線「御成門駅」・「内幸町駅」より徒歩7分

ご来場ご希望の方は、  
アトムリビンテックホームページより招待状を  
プリントアウトしてお持ちください。

<http://www.atomlt.com>

みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

えていました。これが、引戸ソフトクローズの前身とっていいかもしれません。

また、アトムリビンテックのこんな動きに連動するかのようには、お取引先様の住宅設備メーカーなどから、「人間が手を加えなくても、自動ドアのように閉まる引戸があつたらいいのに」というエンドユーザーからのニーズがあるんだけど」といった話も持ち込まれるようになりました。

このような現場の声に耳を傾けつつ、さまざまな試行錯誤を重ねるうちにだんだんと形になってきたのが、バネと摩擦ダンパーを組み合わせて引戸を閉じる機構でした。このプロトタイプが

完成したのが2004年の半ばのことです。

**専門メーカーのダンパーを採用して品質が安定**

アトムリビンテックはファブレス経営で、生産はすべて協力工場に委託しています。初期の引戸ソフトクローズで採用した摩擦ダンパーは、ある工場内で内製化したものでした。これを使つた引戸ソフトクローズの第一弾をリリースしたのが、2005年11月のことです。ところが、このダンパーの品質に問題があり、各地からクレームが寄せられることになったのです。

お取引先様には、大変なご迷惑をかけてしまい、ほんとうに申しわけなく思っています。そこで、ダンパーの改良に全力を挙げて取り組んだのですが、内製のダンパーではどうしても限界がありました。

そんなカベにぶつかつたことで、ダンパーの専門メーカーに相談することになり、そこで提案されたのがオイルダンパーでした。それはシリコンオイルを使った直動式のダンパーで、シリコンオイルは温度による粘性変化が少なく、耐熱性・耐寒性にもすぐれているという特色もついています。

住宅の建具に使用された事例はないため、もしそのダンパーを採用するの

であれば形状などをあらためてデザインしていく必要がありました。加えて、シリコンオイルの粘度によって、ソフトクローズが作動を始めて戸が閉まりきるまでの時間が異なるため、実験によって適正な粘度を決めていく必要もありました。

このような紆余曲折を経て、引戸ソフトクローズのセカンドバージョンがようやくできあがり、2007年6月、リリースされることとなりました。これで、それまでのクレームがうそのように激減し、アトムリビンテックの引戸ソフトクローズは、市場で徐々に認知されるようになっていったのです。

アトムニュース176号に続く

アトムリビンテックのHPにて、引戸ソフトクローズの商品紹介を動画でご覧いただけます。  
<http://tv.atomlt.com/index/ch/tategu/1/-date>



「杜の未来舎」

# 斎藤 久夫 さん

東北の作家は今、  
元氣を取り戻しつつあります



斎藤 久夫 (さいとう ひさお)

1951年生まれ  
早稲田大学第一文学部卒業。卒業後、仙台に帰郷。広告制作会社にコピーライターとして勤める。35歳の時、フリーランスとして独立。その後、企画・デザイン会社「有限会社未来舎」を設立。陶芸家との出会いから50歳を過ぎ「杜の未来舎ギャラリー」を開く。作家の魅力を引き出すアートマネジメントを基調に、海外にも目を向けながら、震災後スタートさせた東北の個人作家の支援活動の継続化を目指している。

仙台を拠点に、

東北のさまざまな作家や作品と関わり  
バックアップしてきた斎藤さん。

東日本大震災で作家たちは、  
多くのものを失った。

でも、斎藤さんは日本へ、世界へとその情報を発信し、  
そして今、

東北の作家たちの前には新しい舞台が…。



## 東北で活動するアーティストを 応援する者として

**川村** 「杜の未来舎」を主宰されているということですが、具体的にはどんな活動をされているのですか。

**斎藤** ギャラリーをベースに、アートマネジメントやプロデュース的な事が主な活動です。あと、地元だけではなく、各地に作品を持って行って展示販売もしています。

**川村** どういう作家さんが多いのですか？

**斎藤** 一番多いのは陶芸の作家。あとはガラス器とか絵画とか。絵画は油絵から水彩、版画までといろいろです。東北で、私みたいなプロデュース的な事をやってる人って、少ないと思います。

**川村** お仕事を始めたのは？  
**斎藤** 作家は自分で作品を作って、展

示から販売まで全部、一人でやってる人が多い。やはり作家には作品づくりに集中して、素晴らしい作品を作っていた方がいい。そんな思いからギャラリーの活動を始めました。活動を始めて7〜8年目。ようやく流れが見えてきた時、あの震災が…。

**川村** 斎藤さんの中で、3・11の記憶というのは？

**斎藤** 陶芸作家にとっては命とも言える窯を失ってしまった方が大勢いた。売るべき作品を失ってしまった方も。そうした現実を前に、作品づくりを続ける意欲すらもなくしてしまっただ方も少なくありませんでした。出会う作家の現実、私にとってもショックでした。

**川村** でも、その困難を乗り越えるかのように活動を活発化されて。アトムリビンテックでも震災後、展示即売会を開かれていますよね。

- ①一関の作家 井上哲治さんの焼締陶器（一輪挿し）
- ②仙台のガラス作家 村山耕二さんの仙台ガラスのグラスとランプ
- ③一関の作家 本間文江さんの陶製猫型火鉢“手あぶり猫”
- ④村山耕二さんの白瑠璃グラス
- ⑤青森県の漆作家 中村彩子さんの茶筒
- ⑥気仙沼のガラス作家 菊田佳代さんの花器



**斎藤** はい。「炎の作家展」という展示

即売会。あるプロジェクトを通して交流のあった矢野TEAさんに展示即売のご相談をしたところ、アトムリビンテックさんをご紹介してくださり、実現したイベントです。その頃、窯も壊れてしまっし、作品づくりの気力も失ったし、もう陶芸の仕事をやめようか…という作家もいたんですが、こちらでの展示販売ということが新たな目標となつて、作家魂を甦らせた方もいます。アトムさんは収益も100%、支援のためにと考えてくださつて。心から感謝しています。

**困難を乗り越えた今**

**そこには新しい世界が**

**川村** 震災後は、海外からもメッセージが届いたそうですが。

**斎藤** 英国からメールが届きました。英国の陶芸家たちが支援する組織を作ってくださいました。費用を出していただき、岩手の陶芸家さんが渡英しました。また、ニューヨークからは復興支援のオークションをやるから参加してくださいというお誘いも受けました。今、アトムさんのギャラリーで扱っている作家の作品も、向こうに送ったんですよ。

**川村** 世界的規模で、東北の作家さ

んたちが躍動し始めましたね。

**斎藤** 作家の作品が売れて収入が入るといふ、基本的なことが少しずつできるようになってきています。また作家は、地元だけでやっていた時には分からなかった自分の作品の力を、アトムさんで展示販売をする事によって、知る機会を得た。作家作品を掘り起こす機会にもなった。

**川村** ステップアップの機会ですね。今年の3月にも、アトムリビンテックで展示会を開かれると伺っています。アトムでは“A cup of tea.”をコンセプトに「5f+」というプロジェクトを立ち上げていますが。

**斎藤** テーブルがあったり、植物があったり、コーヒーカップやティーカップがあったり、絵画があったり…。一杯のお茶から始まる素敵なライフシーン…というような意味合いのコンセプトです。3月2日〜16日まで、そのコンセプトにのっとり作品をご紹介しながら展示販売をと思っています。「お酒の器 お茶の器」というテーマで展示させていたきたいと思っています。

**川村** 素敵な器に出会えるんだ！  
楽しみ！絶対行きますね。

# アトムリビンテック 広島営業所を紹介します！

みなさまこんにちは。いつもアトムニュースをご愛読くださいまして、ありがとうございます。今回はCSタワーのスタッフが東京を飛び出し、アトムリビンテック広島営業所を訪問してきました。



左から 堤 政彦 坪北 恭子 吉野 路子 渡辺 宏 高田 一雄 川崎 一義 濱田 幸一



トラックへの商品積み込み



3名のパートさんは、勤続20年以上の大ベテラン。重量のある梱包をひよいと持ち上げ、手際よく検品していました



朝礼の様子



前の晩、どんなに遅くまで飲もうとも、朝は清々しい笑顔で営業所前を掃き掃除（川崎）



広島市西消防署

アトムリビンテック広島営業所

広島駅から広電（路面電車）で30分ほどの観音町というところにあります。最寄り電停の「西観音町」からも近く、すぐそばには近代的なデザインの「広島市西消防署」があります。



所長 高田一雄

広島県は全国でも有数の家具の産地として知られ、古くから家具・住宅関連産業の盛んな地域です。アトムリビンテック広島営業所は、昭和47年、広島市に開所以来、中国・四国地方のお客様を中心に販売活動を行っておりま。以前は家具金物の出荷量が多かったのですが、ライフスタイルや産業構造の変化にともない、最近はソフトクローズなどを中心とした引戸金物を多くご提供しております。広島営業所はこれからも地域に根を下ろした活動を続けてまいります。今後ともなお一層のご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

## 広島は、ぶちぬきとびせけのおいっぺん来てみんさ、やー



### カキとカワハギ

カキがあまりにも巨大なので驚きました。カワハギのことは「ハゲ」と呼ぶのだとか。肝ポン酢でいただきました



### 宮島

平清盛ゆかりの地。食べ歩きやおみやげ探しのんびり過ごすもよし、弥山ハイキングで山頂からの絶景を楽しむもよし（かなり登り甲斐がありそうですよ）



高田所長もおすすめ、JR宮島口駅南「うえの」のあなごめし。隣の席のご夫婦は、白焼きをおつまみに、朝10時からお酒をガンガン飲んでいました



営業所からすぐの「鉄板焼 晴屋」。高田所長も「うまいでがんす!」とお気に入り  
\*「〜でがんす」は安芸地方の方言です



### 原爆ドーム

周囲に高層ビルが増えたせいか、原爆ドームが年々小さくなって見えるといった声もあるようですが、平和への願いは未来永劫不変です



### 広島城

最上階から広島市内が360度見渡せます。個人的には城内に多数展示されていた、日本刀の透かし鐙が印象的でした（金物屋の性）

1F

ギャラリーショップ  
KANAGU  
PICK UP!



新生活スタートのこの季節、暮らしをちょっぴりセンスアップしてくれる3アイテムをご紹介します。



鍋敷き「星」

真鍮製のコンパクトな鍋敷き。使わないときでもオブジェ感覚でテーブルに置いておけるモダンなデザインが魅力です。詳細は読者プレゼント欄をご覧ください！  
3,150円(税込)



ALART(アルアート) 花あそび Mサイズ

変形自在のねじれたリングが程よく植物を支えてくれるので、誰でも簡単にアレンジメントが楽しめます。アルミ製なので錆びの心配もありません。  
1,470円(税込)



SHIROKANE 木と小鳥のアクセサリースタンド

枝に止まった2羽の小鳥がキュート。軽いついで好きな形が作れるのは、純度の高い錫ならではの。受け皿にはケヤキ(オイル仕上げ)を使用しています。  
5,250円(税込)

読者プレゼント

真鍮の素朴な風合いを食卓に

鍋敷き「星」



使い込むほどに渋みを増す独特の風合いは、人とモノとが時間を共有した証。いっそう愛着が増しますね。

サイズ:165×165×H15mm

铸物の企画・铸造を手掛ける、1897年創業の株式会社二上がプロデュースする生活用品ブランド「FUTAGAMI」の鍋敷きは、塗装などの後処理を行っていない素朴な铸肌の質感と、優雅な光沢が特徴。使えば使うほどに表面が酸化し、渋みのある独特の風合いが生まれます。もちろん真鍮磨きでお手入れすれば、しっとりとした素材本来の光沢を保つことができます。テーマが「宇宙」とあって、ほかには「月」「太陽」「銀河」のラインナップ。今回はシリーズのなかでもっとも鍋敷きらしくない(笑)デザインの「星」をセレクトしました。

\* \* \*

巻末ハガキ・FAXまたはホームページのアンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10名様にプレゼントいたします。

締め切り 2012年4月30日(月)

- ・当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- ・こちらの製品はCSタワー1F「ギャラリーショップKANAGU」で販売しています。どうぞお手にとってご覧ください。



ギャラ ボ  
GA-LA-BO イベントレポート  
ギャラリー × ラボラトリー

煎茶道 黄檗賣茶流の初煎会

1月、黄檗賣茶流の初煎会(新年を迎え、初めて開かれるお茶会)がCSタワー8Fで行われました。黄檗賣茶流家元 中澤弘幸宗匠によるお席のテーマは「松竹梅」。昨年までのさまざまな出来事を踏まえ、原点を見つめなおすといった意味が込められていました。参加者は五感でお茶を味わい、東北の復興と1年の幸を願いました。



お手前席には竹と梅が生けられていました



撮影：大屋徳亮

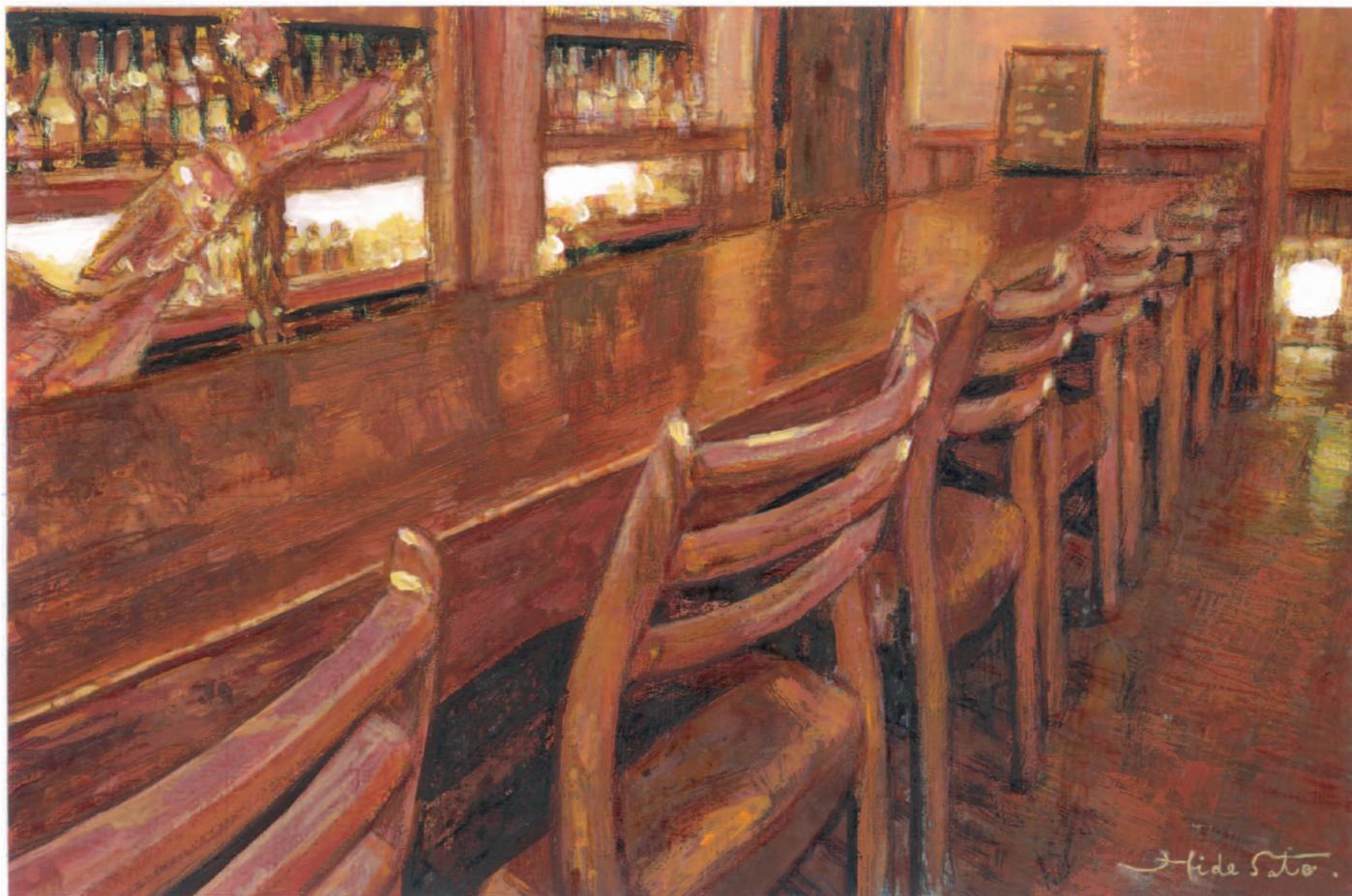


松をイメージしたお菓子

PH	ガーデンギャラリー
8F	ホワイトギャラリー
7F	GA-LA-BO アルティザンフロア
6F	GA-LA-BO エキシビジョンフロア
5F	GA-LA-BO シーンメイクフロア
4F	垂吐夢金物館 ヒストリーコーナー
3F	垂吐夢金物館
2F	垂吐夢金物館
1F	ギャラリーショップ KANAGU
BF	サロンスペース 真鍮コレクション

ATOM CS TOWER

- アトムCSタワー 東京都港区新橋4-31-5
- 営業時間 / 月曜日～金曜日 10:00～18:00
- 休館日 / 土・日曜日 祝日(第1・第3土曜日は営業)



## 風雅な趣きを味わう古民家バー

藍染めの長暖簾をくぐり、格子戸を引きあける。

玄関の三和土で靴を脱ぎ、板敷きの店内へ。奥には行燈の灯りに浮かぶ瀟洒な坪庭がしつらえられ、周りに目をやれば、板張りの天井や和紙のテイストを感じさせるガラス障子。銀杏の一枚板でつくられたカウンター。その向こうに洋酒のボトルが並んでいなければ、下町の小粋な料亭に迷いこんだかと思わせる佇まいだ。

「面白いね、といわれるような店づくりをしたかった」と、オーナーバーテンダーの森崇浩さん。

浅草寺の裏手に広がる、かつての花街の一郭。踊りのお師匠さんの自宅であった昭和の古民家を、風雅な趣きを活かしたバーに変身させた。「家に帰ったような気持ちで、靴を脱いで寛いで、大人の時間、和の風情を味わってほしい」という。

ドリンクメニューはない。メニューがあると、メニューにあるものしか頼まれなくなってしまう。お客さんとの会話を通して、その日その時にふさわしいお酒



フォス  
【FOS】(Forest on the sea)  
東京都台東区浅草3-37-3  
TEL.03-3872-8804  
営業時間/PM7:00~AM4:00  
定休日/火曜日

を提供したいと思うからだ。

店名の「FOS」は、そんなお客さんの一人で海洋冒険家の原健さんが名づけ親。孤独と不安に満ちたヨットの世界一周レースの途上、ふいに大海原の彼方に姿を見せた幻想的な森の光景が忘れられないと、バーテンダー森さんの名前に掛けて「海上の森(Forest on the sea)」と命名。バーという空間を海になぞらえ、ボトルの一本一本が樹木となって森を形づくるというイメージが広がる。

ときに海は、母にも揺り籠にもたとえられる。海は人生だという人もいる。

そんな大いなる海に漕ぎ出し、スピリッツの深い森に分け入る夜。

歴史を刻んだ古民家の味わいと木肌の温もりが、ひそやかにグラスに忍びこんでくる。



オーナーバーテンダーの  
森崇浩さん



読者の声

みなさまよりお寄せいただいたご意見を  
いくつかご紹介いたします。

東京再発見に「山の上ホテル」を取り上げていました。私は設計者で現場を担当していた者の一人です。P8アトムの視点でドアノブの高さのコメントが出ていました。外人向けに高いのでは？ということですがそうではありません。通常、電気のスイッチ高さは1200が標準です。ドアノブとスイッチは近くにあることが多く、高さを同じにすることによって、手を同じ高さで横にスライドすればノブもスイッチも触れる、という配慮です。特に暗い場合有効です。さすが、金物メーカーさん、よく気がつきました！設計者にとってこのような細かな配慮に気がついていただけることはとてもうれしいです。

<東京都 澤野様 男性>

最近、トイレ空間も、デザイン重視されるお客様が増えてきました。その中でドアの明かり採りがいつもネックになっております。大きさや、形、寸法のバリエーションが増えれば嬉しいです。

<兵庫県 Y・R様 男性>

今後の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

編集後記

「食べ物もおいしいし、人もあたたかいし、いいところだよ」。周囲からそう言われて、初めて訪れた広島。本当にその通りでした。人と自然との距離が近く、歴史が人々の日常に溶け込んでいました。夕暮れどき、平和記念公園のベンチに座って原爆ドームを眺めながら、しばらく平和の2文字を思い浮かべていました。 <夾竹桃>

INFORMATION



EARTH VISION

アトムリビンテックが応援している「アース・ビジョン 第20回地球環境映像祭」が開催されます。

3月16日(金) 14:00 - 20:00 暮らしを変える 未来が変わる  
3月17日(土) 10:00 - 18:30 つながりを取り戻す-3.11から 1年  
3月18日(日) 10:00 - 20:30 思いをつなぐ  
会場:新宿区 四谷区民ホール  
(東京都新宿区内藤町 87番地 四谷区民センター9階)  
参加・協力費:1日1,000円(高校生以下無料・事前予約不要)  
3日間通し協力費(カタログ付き):一般 2,000円 学生1,500円  
問い合わせ:アース・ビジョン組織委員会  
TEL:03-5802-0525  
http://www.earth-vision.jp



AfterHoursの絵を描いている佐藤英行さんの作品が常設展示されています。

Single Malt Bar TIME  
東京都世田谷区等々力5-5-9 B1 TEL.03-5706-7039  
営業時間/日~木 PM7:00~AM3:00 金・土 PM7:00~AM5:00  
年中無休

※今号で紹介したバーFOSの原画をアトムCSタワーBFサロンスペースで展示しています。ぜひご覧ください。



特販事業部 半井伸太郎

特需営業を担当し、既存商品にとらわれない  
開発・提案などにも携わる

え〜と、最近の私の休日の過ごしかたです。ね。そうですね、子供が生まれるまでは妻といろいろと出かけていましたよ。電車を出かけて山に登ってみたい、大学の友人とキャンプに行ったり、アウトドア中心でした。さすがに子供が生まれてしばらくはお休みしてしまいたけど、親が堪えきれずキャンプにも何度か連れて行きましたよ、2歳の娘を。本人はキャンプそのものより、坂とか階段とかが楽しかったみたいです。キャンプの夜といったら最大のお楽しみはキャンプファイヤー&ビールですが、娘はその前に当然のように寝ちゃってました(笑)。

あと、変わらずに楽しんでいるのはやっぱりラグビーですかね。もちろん自分でプレーする環境そのものがなかなかないですし、すっかり年相応のビールっ腹になっちゃったので、もっぱら観る専門です。最近のラグビーネタとしてはご存じの通り？昨年、NZでW杯があり、夜中にビールを飲みながら録画観戦していたことですかね。いやあ、残念でした。我が家がジャパン。まさかの1引き分けとはねえ。ひとづぐらいは勝てると思っていたんですけどね。2019年には次々回W杯の日本開催が決定していますから、それまでに頑張って代表に強くなってもらいたいですね。なんとと言っても、世界的ビッグイベントですから、スタンドに空席なんてありえませんが、もちろん、それまでになんとか妻と子供にラグビーに興味を持たせて、おそろいの桜のジャージーを着て、試合を観に行きたいなあと思ってしています。



外出前の筆者と娘とラグビーボールです

個人情報の取り扱いについて

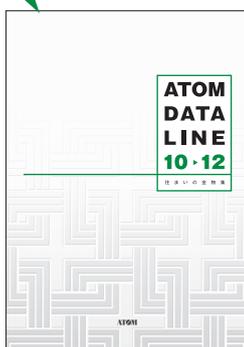
アンケートや読者プレゼントにご応募いただいたみなさまの個人情報は、読者プレゼントおよび「ATOMNEWS」の発送にのみ使用いたします。ご本人の承諾のない限り、第三者に提供することはありません。また、ご応募の集計結果は個人を識別できない形で管理の上、「ATOMNEWS」の企画・編集・制作の参考にさせていただきます。

# 住まいの名脇役でありたい。

目立たないけど、いい味だしてる。  
 住まいのさまざまなシーンで活躍する、  
 アトムの金物です。



役立つ情報  
 満載!



カタログ内容は、下記アドレスからご覧いただけます。

## 住まいる部の職人 **ATOM** アトムリビンテック株式会社

■本社 / 〒110-8680 東京都台東区入谷1-27-4 TEL.03-3876-0600 (代表)

特販事業部 TEL.03-3876-0603 FAX.03-3876-8833

卸売事業部 TEL.03-3876-0602 FAX.03-3876-4435

■アトムCSタワー / 〒105-0004 東京都港区新橋4-31-5

オンデマンド事業部 TEL.03-3437-3673 FAX.03-3437-3565

亜吐夢金物館 TEL.03-3437-3440 FAX.03-3437-3565

■アトム住まいの金物ギャラリー大阪事業所 / 〒564-0052 大阪府吹田市広芝町18-5  
 TEL.06-6821-7281 FAX.06-6821-7282

■札幌営業所 / 〒060-0907 北海道札幌市東区北七条東三丁目28-32 井門札幌東ビル1F  
 TEL.011-748-3113 FAX.011-753-3015

■前橋営業所 / 〒371-0805 群馬県前橋市南町3-72-7  
 TEL.027-223-2651 FAX.027-223-2661

■広島営業所 / 〒733-0031 広島県広島市西区観音町16-9 みさおビル1F  
 TEL.082-291-4235 FAX.082-291-4880

<http://www.atomlt.com>